

日本地球惑星科学連合2012年大会ハイライト論文に推薦されました

2012年5月20日(日)～25日(金)に幕張メッセで、日本地球惑星科学連合2012年大会が開催されます。
日本地球惑星科学連合大会(Japan Geoscience Union (JPGU) MEETING)は日本の地球科学、惑星科学、宇宙科学に関連する48の学協会が共同で開催する、地球惑星科学に関する日本最大のジョイントミーティングです。

この大会のおよそ4,000件の発表のなかから、ハイライト論文として、JAMSTEC研究者が主著者となっている以下の論文が推薦されました。

ハイライト論文は、大会の発表のなかで、特に学術的・社会的に話題性の高いと思われる発表が、日本地球惑星科学連合の5つのサイエンスセッション(宇宙惑星科学、大気海洋・環境科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学)、およびその他・広領域の合わせて6つのカテゴリーごとに、それぞれ約5件を目安に選出されるものです。

タイトル: 対流圏オゾン光化学へのエアロゾル影響: 中国Rudongにおけるオゾン等光解離速度定数(J値)のエアロゾルによる低下

主著者: 金谷有剛(地球環境変動領域)

発表日: 2012年5月22日(火)

タイトル: 南海トラフ前弧斜面の掘削孔で検出された高濃度メタンハイドレートの含有率推定

主著者: 木下 正高(高知コア研究所)

発表日: 2012年5月24日(木)

タイトル: ブレークスルー研究の基盤構築に関連する若手研究者による取組み: 分野間連携と次世代育成に注目して

主著者: 長谷川拓也(地球環境変動領域)

発表日: 2012年5月25日(金)

タイトル: 白亜紀における大規模火山活動と地球環境変動のリンク
～遠洋性堆積物から読み取る地球内部ダイナミクスと環境変動～

主著者: 黒田潤一郎(地球内部ダイナミクス領域)

発表日: 2012年5月25日(金)

※発表の聴講には当日参加登録(有料)が必要です。

JAMSTECでは、大会期間中、併設の展示会場においてブース出展もしております。最新の研究成果などをご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。

▶ [日本地球惑星科学連合](#)

▶ [日本地球惑星科学連合2012年大会](#)